

東京海上、代理店販売を強化 販路拡大で売上高80億バーツ狙う

東京海上グループは、昨年にタイ進出55周年を迎えた。現地法人のタイ国東京海上火災保険で陣頭指揮を執る三木晋吉社長は、2017年度を「新生・東京海上タイ」による飛躍の年にしたいと意気込む。タイ経済の回復が予想される状況下、14年の着任以降に準備を進めてきた新規事業の成果が表れると見込む。主力の自動車保険の強化や新たな事業領域の開拓に向け、エージェントを活用した代理店・ブローカーを通じた事業を強化し、販売チャンネルを拡大。17年度の売上高を80億バーツ（約260億円）台に乗せる考えだ。



三木社長は「今年を飛躍の年にしたい」と意欲を示す＝バンコク（NNA撮影）

16年のタイの保険市場は、国内の景気回復の遅れや新車市場の低迷により停滞した。タイ国東京海上火災保険の16年12月期決算も、利益を確保した一方、売上高は約76億バーツと前期からほぼ横ばいだった。

同社の売上構成比では、主にタイ人向けの自動車保険など自動車ディーラーを通じた事業が50%、工場の火災保険など日系向け事業が45%を占める。三木氏は、代理店・ブローカーを通じた事業の拡大が自動車保険などの成長の起爆剤になると見込む。

タイの自動車保険は、新車の購入価格に組み込まれているケースがほとんどという世界でも珍しい市場。そのため、初年の加入率は100%近いが、自動車ローンとは別に保険料の支払いが発生する2年目に加入者が保険負担を意識し、全体の2割程度が契約を打ち切る。3年目以降も段階的に加入率が下がる傾向にある。

（次ページへ続く）

NEWS HEADLINES

【金融】東京海上、代理店販売を強化
【金融】16日為替：\$1=34,993バーツ（↑）
【電機】富士通、中小企業向けスキャナーの新製品
【電機】エレクトロラックス、新製品60種を市場投入
【食品】ハウス食品傘下、飲料で売上高30億円超へ
【車両】新型マツダ2発表、制御技術GVCを搭載
【車両】独ベンツ、新車販売の3分の1をPHVに
【車両】伊ピアジジオの二輪3ブランド、タイ上陸
【車両】タイヤNDラバー、目標未達も増収増益
【車両】マセラティ販社、5億円で旗艦店を建設
【製造】テトラパック、ラヨンに飲料向けキャップ工場
【製造】エンジ企業イースタン、2部に上場
【運輸】村田製作所が交通情報提供、自社技術を活用
【公益】太陽光BCPGは増収減益、日本投資が影響
【公益】ナガオカ、薬不要の地下水処理で案件化調査
【商業】韓国EC「11番街」、取扱高1000億円目標
【商業】今年の小売市場伸び率、3%台回復に期待
【IT】プリント基板KCE、去年は36%増益
【労働】1月の失業率1.2%、3カ月ぶりに悪化

1 【繊維】NZのラグビーショップ、タイ1号店を開設 8
3 【農水】養鴨ランチ、国内外で子会社4社設立 8
3 【化学】PTT、傘下の石化事業をPTTGCに集約 9
3 【建設】英国大使館跡地競売、セントラルの落札濃厚 9

アジア情報

4 【労働】ミャンマー労働者派遣拡大へ、日本との覚書準備 9
4 【運輸】トラスコ中山、インドネシアに新倉庫を設置 10
4 【金融】岡山の中国銀行、BIDVと業務提携 10
5 【車両】トヨタ、インドで第4世代「プリウス」を発売 10
5 【IT】23年までに日本の地デジ全面導入、比政府方針 11

特集

6 【生産革新道場】指示を相手に確実に納得させる3つのポイント 13
6 【アジア三面記事】お互いの目と耳に 14

マーケット情報、その他

7 商品市況 15
7 クロスレート 15
8 マーケット情報 為替と株式 16